

ごあいさつ

NHK放送技術研究所長 藤沢 秀一

NHK放送技術研究所(技研)は、放送技術分野を専門とするわが国唯一の研究機関として、また、公共放送NHKの一員として、放送技術の発展を通して、わが国における豊かな放送文化の構築に貢献するという役割を担っています。

今年、日本のテレビ放送が開始されてちょうど60年になります。この間、放送を取りまく環境も時代の変化とともに変わってきました。技研は、現在多くの方にご覧いただいている衛星放送やハイビジョンを実用化してきたように、さらなる放送の進化を目指し、研究開発を進めています。直近の経営課題を解決するための研究から、次の時代の新しいサービスを創造するための研究まで、また、人間の生理、デバイスからシステムまで、幅広い研究開発を進め、新時代の放送にふさわしい技術基盤を構築していきます。

技研では、NHK経営計画にあわせて、2012~2014年度NHK技研3か年計画を策定しました。この初年度にあたる2012年度は、重点項目である放送通信連携サービスの基盤技術、スーパーハイビジョン、立体テレビなどの高臨場感放送の実現に向けた研究開発を進めました。放送通信連携サービス基盤技術のHybridcastについては、2013年のサービス開始に向けて、国、民放、メーカーなどのみなさまと協力しながら準備を進めています。2012年のロンドン五輪のパブリックビューイングで多くの方々にその魅力を体感していただいたスーパーハイビジョンについては、2016年の実用化試験放送開始を目指して、スピード感を持って研究開発を推進しています。また、諸外国の放送機関や研究機関との連携を深め、多様な共同研究・実験などを、積極的に展開しています。

本年報が、NHK放送技術研究所の研究開発活動を理解していただく一助として、またあらたな研究開発の連携関係の構築や、私どもの研究開発成果を活用していただくうえで、お役に立てれば幸いです。

今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

